

「亜麻」でできた雑貨を取り入れ、お部屋をおしゃれに！

# 他店にはないリネンの オリジナル商品を販売

リネンバード二子玉川店



扱っており、他店にはないオリジナルの商品を販売している。店内には手芸製作のスペースもあり、月に数回ストールやバッグなどを製作する教室も開催している。

同店の他、カフェや陶器の食器店など11店舗を経営するオーナーの米田社長が各店に求めていることは、「そこで売られているものが何かを従業員一人ひとりが理解し、自分が良いと思うものを売ってほしい」とのこと。東京駅に今年3月オープン予定のJPタワー内に新店舗を計画しているが、店をつくることで自分たちだけではなくその地域周辺の環境を良くしていきたいと考えている。ワクワクする商品ばかり置いている店内、そしてどこか落ち着く空間がある「リネンバード二子玉川店」。おしゃれなインテリアを取り入れることでお部屋をグレードアップしてみてはいかがだろうか。

皆さんは「麻」と聞いて何を思い浮かべるだろうか？夏用の和テイストの服、細かな目のハンカチなど様々あるだろう。その麻の中でも「リネン」（亜麻）という種類は、他の麻より繊維が細く、ベッドリネンや洋服、ハンカチなどに向く薄手で軽い感触の糸から、バッグやクッションなどに向く厚手の糸まで幅広い生地をつくることができる。また、リネンは他の繊維に比べて水分を素早く吸い取りかつ発散し、表面の質感が柔らかいため、肌着などの衣料用やタオルやベッドのシーツなどの寝装には最適であり、その一方で、独特の風合いからカーテンやテーブルクロスなどのインテリア素材としても好まれている。

「リネンバード二子玉川店」  
（世田谷区玉川、米田和威社長、  
03・5797・5517）は、リネンを使用した手づくりの雑貨や洋服、カーテン生地そのものまで



店内にはリネンの生地が所狭しと並んでいる